



愛媛の道路 2024

愛顔あふれる愛媛県未来のための道づくり



1 四国8の字ネットワーク

平成30年7月の西日本豪雨災害の際に、高速道路は被災地の救援や緊急物資の輸送など、「命の道」として重要な役割を果たしました。

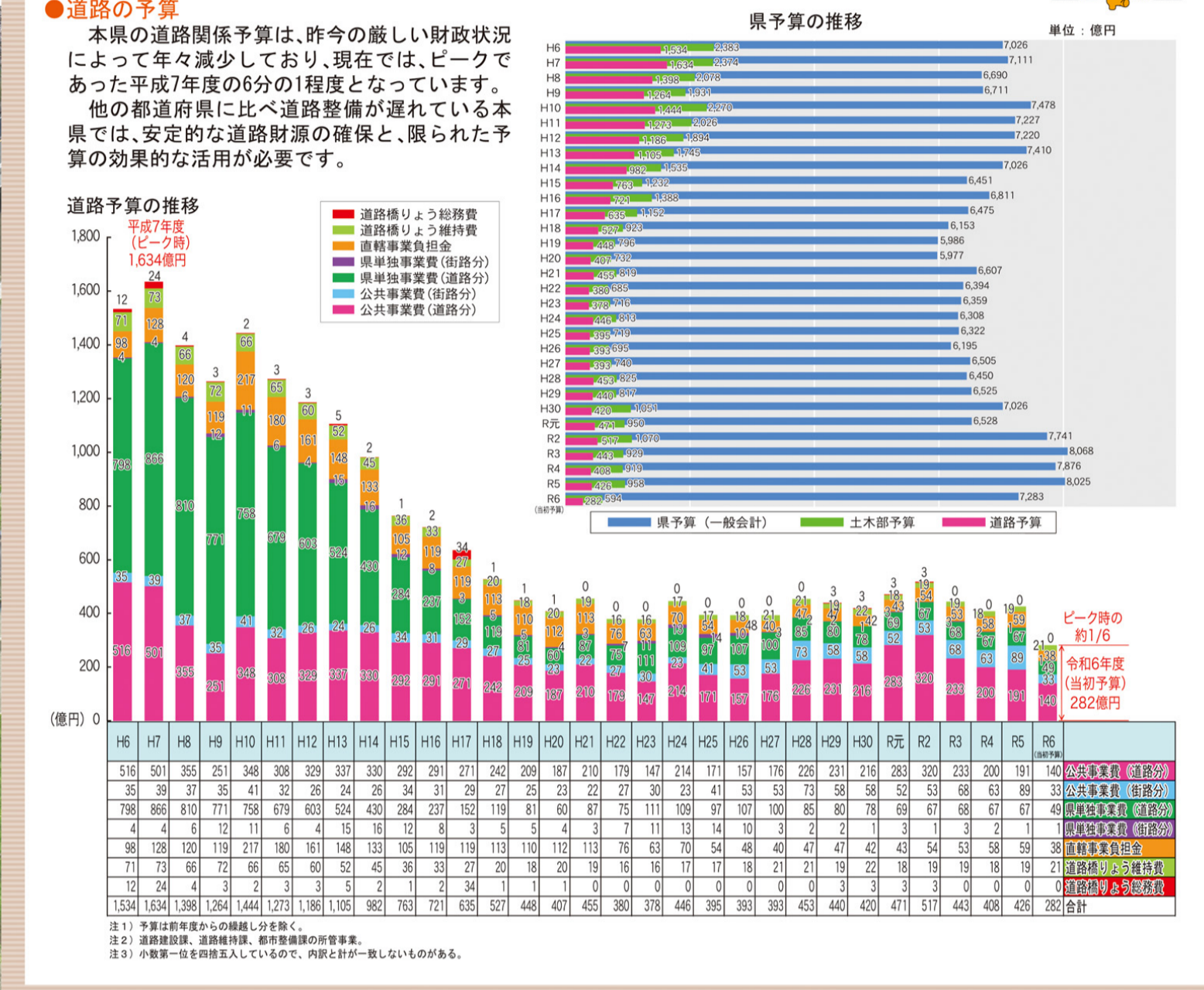
そのため、四国8の字ネットワークにおけるミッシングリンクの早期解消に向け、津島道路や宿毛内海道路の整備促進に取り組んでいます。

3 大洲・八幡浜自動車道 約14km
名坂道路 L=2.3km
八幡浜道路 L=3.8km
夜直道路 L=4.2km
大洲西道路 L=3.3km

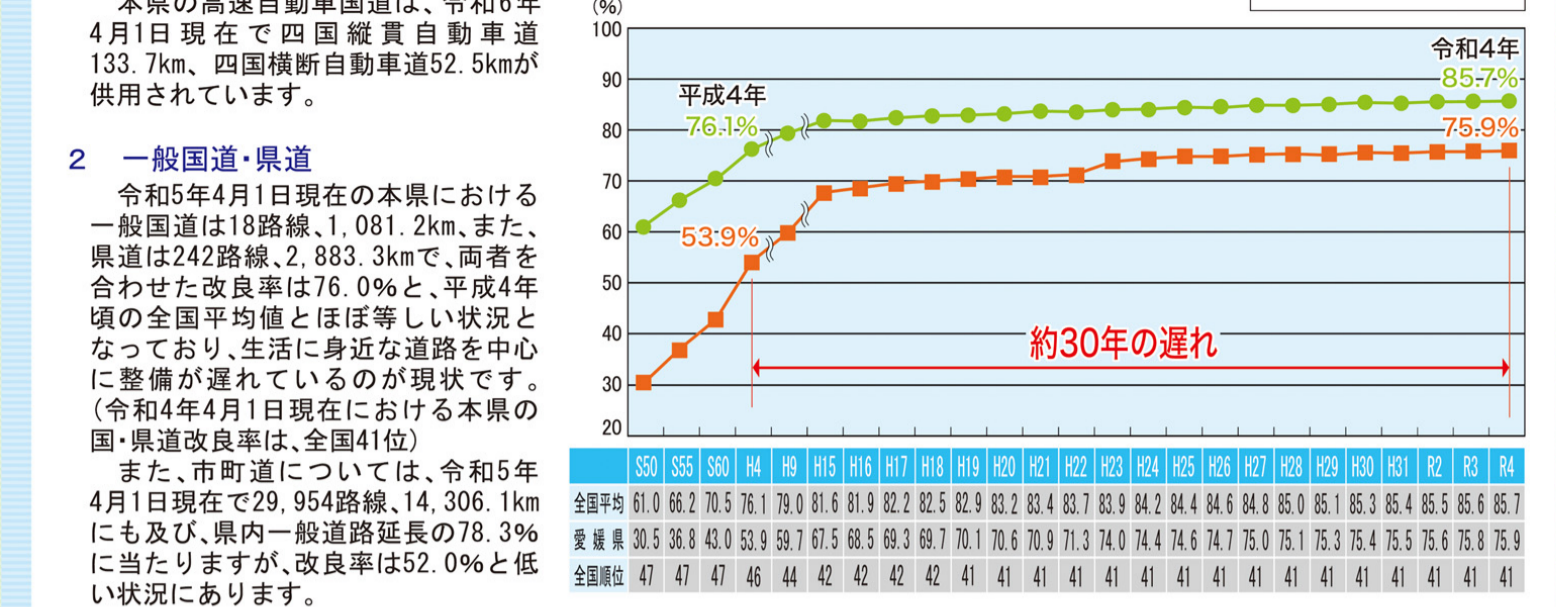
2 愛媛の概要

1 地形と自然
県土は、四国の脊梁山脈に沿って東西約160kmと細長い地形で構成されており、総面積は5,676km²あり、全国26位の広さをもち、県土の約70%が林野となっています。

3 道路の予算



2 道路の状況



4 愛媛県の道路の整備方針

1. 道路整備計画の体系
本県の道路整備は、「愛媛の未来づくりプラン(第六次愛媛県長期計画)」をはじめとする各種長期計画に基づき進めています。



Topics 1 松山外環状道路が順次開通しています!



Topics 2 東温スマートICが開通しました!

東温スマートICは、愛媛県の東温市、松山1と川内1Cの間に位置するスマートICで、令和6年3月23日に開通しました。

南海トラフ地震等の災害に備える道路の整備

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するため、各地域の中心都市や防災上重要な施設(防災拠点)を相互に連絡する道路(緊急輸送道路)を優先して、様々な防災対策を総合的に進めています。



●緊急輸送道路
緊急輸送道路は、地震や災害発生後に、救助活動の円滑な実施や物資輸送の確保を行う上で重要な道路です。

道路の適正な管理の推進

1 県民との協働による道路環境づくり
地域住民の共有財産である道路の安全で快適な環境を守るために、県民との協働による新しい道路環境づくり「えび愛ロード運動」を推進しております。

ひとにやさしく、みんなが安全に移動できるみちづくり

市街地の歩道及び自転車歩行者道を重点整備することにより、ひとにやさしい道づくりを推進し、お年寄りや子どもが安心して安全に通行できる道路空間を創出します。

愛顔(えがお)あふれる街のみちづくり ~街路の整備~

●街路整備の効果
街路には主に5つの多様な機能がなり、街路整備は「物流促進」、「安全安心」、「景観環境」などの効果向上に寄与します。

自転車を活用した地域活性化

●サイクリングパラダイス愛媛の実現
愛媛県では、サイクリングは「健康」と「生きがい」と「友情」をはぐくむという「自転車新文化」の基本理念のもと、瀬戸内しまなみ海道(サイクリストの聖地)を中心に、県全域を誰もが自転車で親しまい、楽しみながら愛媛県を周遊できる「サイクリング」を推進しています。